

第7回 坂出市議会報告会

- 1 開会
- 2 議長(副議長)あいさつ
- 3 出席議員紹介
- 4 議会報告
 - ・ 予算の概要
 - ・ 総務消防委員会報告
 - ・ 教育民生委員会報告
 - ・ 市民建設委員会報告
 - ・ 坂出北フルインター建設促進特別委員会報告
- 5 意見交換
- 6 閉会

議会報告会資料 目次

報告編

予算の概要	1
総務消防委員会報告	3
教育民生委員会報告	4
市民建設委員会報告	6
坂出北フルインター建設促進特別委員会報告	7

資料編

坂出市議会基本条例前文	8
市議会の概要	9
坂出市議会議員名簿	15

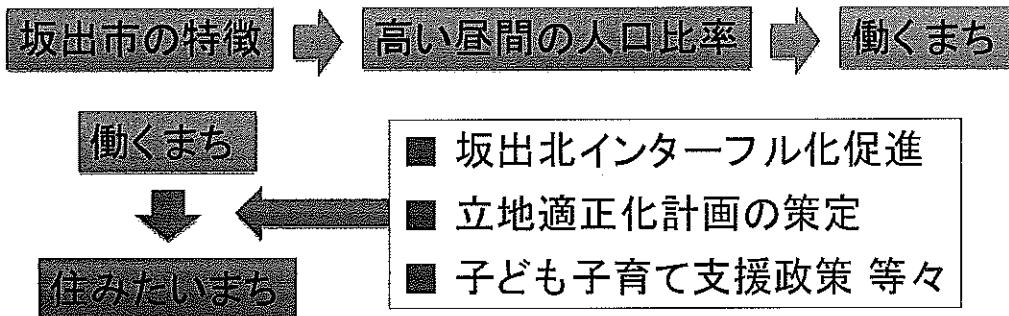
平成28年4月

坂 出 市 議 会

予算の概要

市長の施政方針

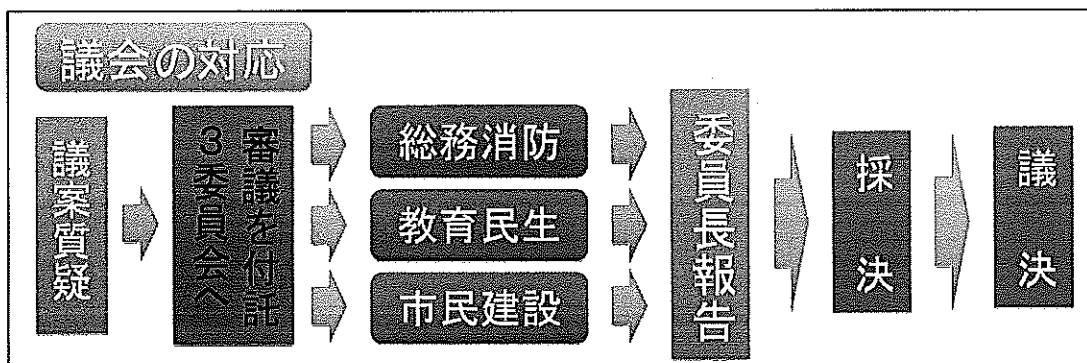
新年度は「坂出市まちづくり基本構想」に基づいたまちづくりが始まる年



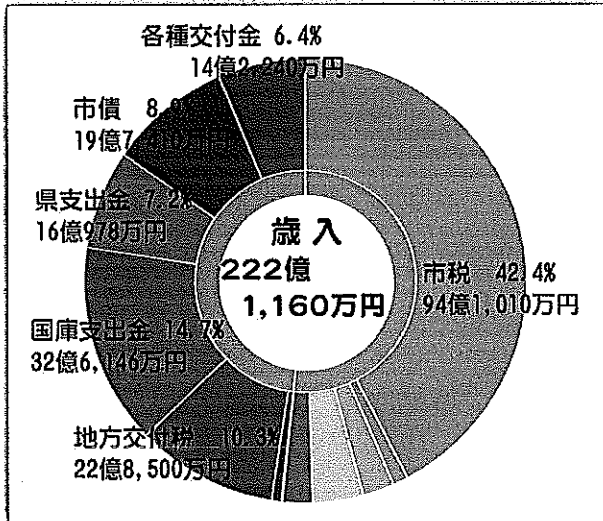
人口減少の克服と地域活力の向上へ「実行」する年にする。

平成28年度 予算編成の方針

- ▶ 限られた財源の中で施策の選択と集中を図る
- ▶ 「市民本位」「市民参加」「市民対話」による市政運営を継続
- ▶ 「働きたい 住みたい 子育てしたい 共働のまち」の実現のため子育て支援や防災対策経費にも積極的に予算を投入



新年度予算(一般会計…歳入)



▶ 一般会計 222億1,160万円

▶ 市 税 94億1,010万円

▶ 各種交付金 14億2,240万円

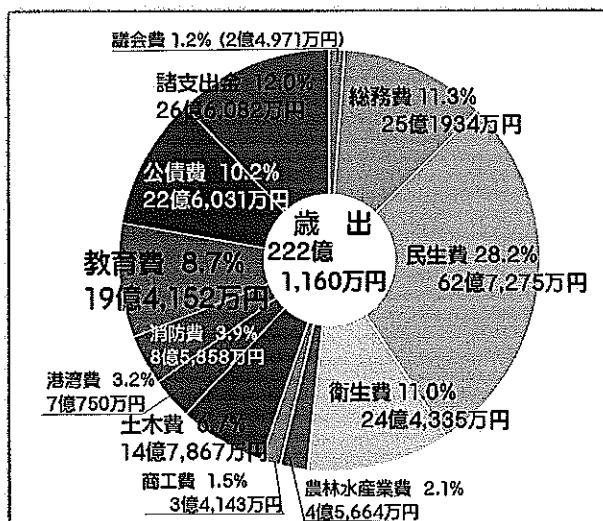
▶ 地方交付税 22億8,500万円

▶ 国庫支出金 32億6,146万円

▶ 県支出金 16億 978万円

▶ 市 債 19億7,410万円

新年度予算(一般会計…歳出)



▶ 一般会計 222億1,160万円

▶ 総務費 25億1,934万円

▶ 民生費 62億7,275万円

▶ 衛生費 24億4,335万円

▶ 土木費 14億7,867万円

▶ 教育費 19億4,152万円

総務消防委員会

■ 空き家等実態調査事業

新たな担当部署：共働課

○ 空き家実態調査の予算：734万円

(国：坂出市=1：1)

○ 事業内容

・ 空き家の写真撮影

・ 老朽度

危険度

判定実施

最新状況のデータ化

■ 自治会運営補助金等の拡充

▶ 運営補助金

● 町内自治会

現行 引き上げ

均等割 30,000円 (29,000円+1,000円)

世帯割 1,000円 (900円+ 100円)

● 地区連合自治会

現行 引き上げ

均等割 28,000円 (27,000円+1,000円)

世帯割 450円 (420円+ 30円)

▶ 自治会・集会場設備の改修補助事業新設

● バリアフリー化 (洋式トイレ、車イス用スロープ設置等)

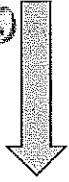
(補助率50%、上限50万円)

■ 女性分団創設事業

〔：予算587万円
(県：市=27：73)〕

○ 平成25年：チーム・コスモス創設

(県内初、女性だけの消防団チーム)



- 市民に向けた予防広報活動
- 応急手当の普及啓発活動

○ 平成28年：団員10人増・女性消防分団に



- 自主性を持った組織
- 災害対応も含む活動幅の強化

○ 平成29年：全国女性消防操法大会に出場

〔練習場所の確保
資機材等の準備〕



教育民生委員会

■ さかいで子育て支援センター (まるっ子ひろば)

事業内容

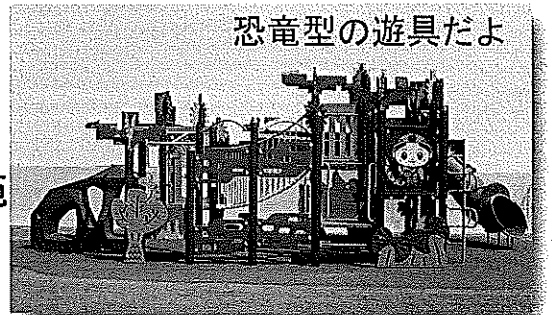
- 親子の遊び場と交流
- 子育て相談
- 講座開催
- 情報収集・提供
- 地域活動支援
- 乳幼児の一時預かり

指定管理者
選定・委託

NPO法人 わははネット



恐竜型の遊具だよ



- 乳幼児の一時預かり → 29年度から実施

■ 社会教育施設整備事業

(旧王越小学校)

宿泊型野外学習施設の整備



王越地区の特色を生かした体験



青少年の健全育成・にぎわいづくり・地域交流の場

平成28年度予算：工事費等 9,140万円

■ 平成28年度坂出市立病院事業会計予算

➤ 事業収入：約48億1500万円（内：医業収益：約43億7900万円）
（前年比3億7000万円 増）

➤ 特別損失：約4億5800万円（旧病院解体費用：4億500万円）

平成27年度		平成28年度
入院患者数： 49,739人	約2,600人増	52,342人
外来年間延患者数： 120,679人	約15,000人増	135,623人

➤ 医療機器整備

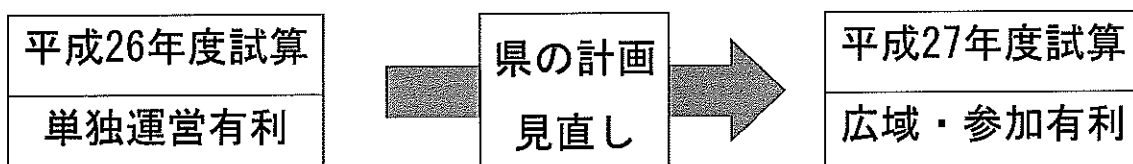
◆ FPD乳房撮影装置

◆ 全自動免疫測定装置等 14機種

市民建設委員会

■ 広域水道事業への参加

- ▶ 平成28年4月 香川県広域水道事業体
設立準備協議会 参加



平成30年度～55年度の供給単価平均上昇率			
	広域水道事業体	坂出市単独	香川用水受水単価
H26年試算	27%上昇	13%上昇	1.8倍(県提示)
H27年試算	8%上昇	—	2.7倍(県提示)

■ 坂出市プレミアム付き商品券

昨年 3万冊発行・完売
 販売予定 → 本年度 「まるプレ2016」

発行団体：坂出商工会議所

販売価格：1セット1万円（1人2セットまで）
（1,000円のプレミアム付き）

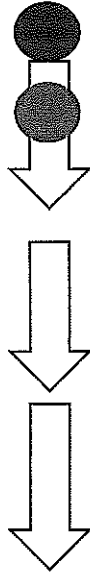
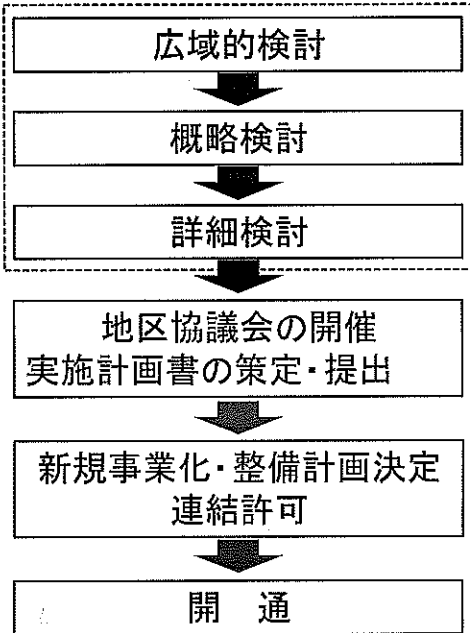
販売冊数：1万セット

利用期間：平成28年7月1日～12月31日（予定）

坂出北フルインター建設促進特別委員会

スマートインターチェンジの準備段階調査について

地方での計画検討・調整



準備会
国による準備段階調査

地区協議会

事業実施
国による整備補助

坂出市議会基本条例 (前文)

坂出市民から選挙で選ばれた議員により構成される坂出市議会は、同じく選挙で選ばれた坂出市長とともに、それぞれ市の代表機関を構成し、市民の多様な意見を把握しながら、市民の負託に応える責務があります。この2つの代表機関は、互いに健全な緊張関係を保つことにより、市民の意思を市政に的確に反映させるため、議論を深め協力しながら、坂出市としての最良の意思決定を導く共通の使命を有しています。

地方分権の流れは、確実に自治体に押し寄せており、その中において議決機関としての議会の果たすべき役割と責任は大きくなっています。

そこで議会は、地方自治の主体である市民とともに考え、行動し、市民の信頼に応えるべく、公正性と透明性の確保、積極的な情報の公開、議員間の自由な討議の展開、議員の資質向上、監視および評価機能の充実、政策立案および提言機能の強化が求められています。また、積極的な市民参加を推進し、多様な民意の的確な把握とともに、市民への説明責任と対話を重ねなければなりません。

議会は、市民とともにふるさとの豊かな自然を守り、先人が築き上げてきた歴史と固有の文化、さらにゆめ無限海橋のまち坂出を発展させ、次代に引き継がなければなりません。

そして、今を生きる市民の生活を守り、市民の輝かしい未来を確かなものにするために、市民福祉の向上に全力を尽くすことを誓い、議会および議員の果たすべき役割と責務を明確にするため、この条例を制定するものです。

市議会の概要

1. 市議会の構成

(1) 議員定数 条例定数：20人（任期：平成27年5月2日～31年5月1日）

(2) 議会構成

①議会運営委員会：7人

②常任委員会（任期2年）

名 称	定数	所管事項
総務消防委員会	7人	総務部，出納局および消防の所管に属する事項ならびに他の常任委員会に属さない事項
教育民生委員会	7人	健康福祉部，市立病院および教育委員会の所管に属する事項
市民建設委員会	6人	市民生活部，建設経済部，水道局および農業委員会の所管に属する事項

③特別委員会

・決算審査特別委員会（8人）

※毎年9月定例会で設置し，閉会中の継続審査を行っています。

・坂出北フルインター建設促進特別委員会（8人）

※平成27年6月29日設置

④その他

・広報広聴委員会（8人）

※議会報告会の開催や議会だよりの編集など文字通り議会の広報広聴全般を担います。

(3) 会派構成（平成28年4月1日現在）

市民グループ 未来の会	新政会	公明党議員会	市民の声
8人	4人	2人	2人
改進黨の会	日本共産党 議員会	新 緑	市民と共に
1人	1人	1人	1人

2. 会議の開催状況（平成27年）

(1) 本会議

回	会期日数		本会議 日数	一般 質問者	延べ審議時間
1	定例会	22日間（3月3日～24日）	5日	7人	12時間18分
2	臨時会	1日間（5月18日）	1日	—	42分
3	定例会	19日間（6月11日～29日）	5日	8人	8時間57分
4	定例会	22日間（9月3日～24日）	6日	9人	8時間27分
5	定例会	20日間（12月3日～22日）	6日	10人	11時間15分

*議決の状況（平成27年中）

区 分	市長提出議案							議会提出議案			
	予 算	条 例	専 決 処 分	決 算	選 任 ・ 任 命	そ の 他	諮 問	条 例	意 見 書	決 議	そ の 他
可 決	26	25				7		3	1		
否 決											
承 認			2								
認 定				13							
同 意					7		1				
継続審査				13							

※9月定例会において決算認定議案13件を継続審査とした。

*意見書・決議の議決状況（平成27年）

議決年月日	件 名	陳情・議員 発議区分
6月29日	ヘイトスピーチ対策に関する意見書	議発

(2) 委員会

委員会名	開催回数	うち開会中	うち閉会中
議会運営委員会	18	8	10
総務消防委員会	9	5	4
教育民生委員会	9	5	4
市民建設委員会	9	5	4
坂出北フルインター 建設促進特別委員会	3	1	2
決算審査特別委員会	8	2	6

3. 行政視察（平成27年度）

委員会名	日程	視察先	視察項目
議会運営 委員会	1月20日 ～22日	千葉県市原市	議会と防災について
		埼玉県所沢市	議会改革の取り組みについて
		埼玉県飯能市	タブレット端末を導入した議会運営について
総務消防 委員会	10月21日 ～23日	埼玉県春日部市	公共施設管理について
		栃木県宇都宮市	人口減少対策について
		千葉県千葉市	ちば市民協働レポートについて
教育民生 委員会	10月20日 ～22日	大分県中津市	新病院建設後の経営状況について
		大分県佐伯市	食のまちづくりについて
		宮崎県宮崎市	総合スポーツ戦略都市について
市民建設 委員会	11月4日 ～6日	大分県大分市	大分市ロケーションオフィスについて
		大分県竹田市	農村回帰定住支援について
		宮崎県都城市	まちなか活性化プラン事業について

4. 議会改革

《議会基本条例案の市民説明会から条例制定・施行（運用）に至る主な経緯》

平成24年

日付	会議等	主な協議内容等
3月28日 ～31日	市民への説明会	中学校区単位に市内4箇所で開催し、条例素案について内容を説明するとともにご意見を聴取。
5月17日	臨時会	議会基本条例を可決。
6月11日 ～8月13日	議運（基本条例の運用協議）①～⑪	条例、工程表、運用方針、実施要領、要領及び要綱案を元に精力的に協議を重ねた。
8月8日	議場の配置換え	議長から見て左右に並べ替え作業。
8月27日	委員会の配列変更	今回から傍聴議員席や記者席等の配置を変更。
8月30日	議員研修会（告示日）	議員総会の形で初の実施。＊理事者の議案説明

9月6日	定例会開会	新配置で雰囲気が大きく変化。
	広報広聴委員会（初）	正副委員長の互選。議会報告会の日程，報告会内容，班編成，役割分担，チラシ配布等の協議。
9月12日 ～13日	個人質問	初の一問一答方式での実施。 ※9人中8人が一問一答方式を選択。
9月～11月	決算審査特別委員会	決算審査の充実を図るため，委員構成を8人から11人に変更し，審査対象は一般会計に加え，特別会計及び企業会計を加えた全会計とした。
10月31日	議会報告会①	1班：水道局大会議室で開催，市民参加23人 2班：与島開発総合センター，28人
11月1日	議会報告会②	1班：市民ふれあい会館，33人 2班：白峰中体育館，16人 計100人の市民参加
12月3日	議会運営委員会	初めて意見書に係る陳情者の意見陳述を実施。

平成25年

日付	会議等	主な協議内容等
2月25日	議員研修会	新年度予算新規主要事業について，当局より説明を受ける。
3月25日	3月定例会	議会の会議，常任委員会等に出席した際に支給される費用弁償を廃止する条例改正案を可決した。
4月25日	議会報告会①	1班：坂出中学校体育館で開催，市民参加17人 2班：瀬居中学校体育館，6人
4月26日	議会報告会②	1班：金山集会所，20人 2班：白峰中体育館，13人 計56人の市民参加
5月20日	臨時会	正副議長選出に当たって初の立候補制を実施し，所信表明会を開催する。
10月22日	議員研修会	議員定数の見直しを検討するに当たって，早稲田大学マニフェスト研究所より中村健氏を招聘し，「市議会議員の定数を考える」をテーマにした講演を受講する。
10月28日 ～11月2日	議会報告会	今回から3班体制で，前期・後期に分けて市内12地区で開催することとなった。 A班：10月30日 川津公民館 参加9人 10月31日 林田公民館 参加46人 B班：11月 1日 府中公民館 参加28人 11月 2日 西部つどいの家 参加18人 C班：10月28日 西庄公民館 参加28人 11月 2日 東部集会所 参加11人 計140人の市民参加
12月20日	12月定例会	議員定数の見直しについて協議，検討した結果，次の一般選挙より，定数22人から2人削減の20人とする条例改正案を可決した。

平成26年

日付	会議等	主な協議内容等
4月18日 ～26日	議会報告会	3班体制で、市内6地区で開催した。 A班：4月25日 松山公民館 参加34人 4月26日 与島開発総合センター 参加30人 B班：4月21日 加茂公民館 参加26人 4月24日 市民ふれあい会館 参加39人 C班：4月18日 王越公民館 参加20人 4月26日 福江公民館 参加24人 計173人の市民参加
6月	議会改革度ランキング	日本経済新聞社産業地域研究所が行った市区議会の改革度調査で全国131位(前回795位)、県内1位(前回最下位)、四国では3位(前回最下位)となり前回ランキング(2012年)から大幅に上昇した。
8月	議会運営委員会	平成27年5月の改選を前に、議会基本条例の見直し作業に着手した。
9月12日	教育民生委員会	陳情書を初めて常任委員会に付託し、審議を行った。
10月27日 ～30日	議会報告会	3班体制で、市内6地区で開催した。 A班：10月27日 川津公民館 参加42人 10月29日 林田公民館 参加58人 B班：10月28日 西部つどいの家 参加38人 10月30日 府中公民館 参加45人 C班：10月27日 西庄公民館 参加19人 10月28日 東部集会所 参加12人 計214人の市民参加

平成27年

日付	会議等	主な協議内容等
5月2日	市議会改選	4月に行われた市議会議員選挙によって選出された新しい議員構成により、第19期の坂出市議会がスタート。
6月	本会議録画映像のインターネット配信を開始	市議会をより身近に感じてもらうために、本会議一般質問の録画映像のインターネット配信を開始した。 ※KBNによる放送は生放送のみとなり、再放送は中止となった。
7月	議会運営委員会	議会運営委員会を中心に、議会基本条例第23条第1項に基づき、この条例の検証作業に着手した。

10月27日 ～30日	議会報告会	3班体制で、市内6地区で開催した。 A班：10月27日 与島開発総合センター 参加35人 10月27日 松山公民館 参加30人 B班：10月27日 加茂公民館 参加15人 10月29日 市民ふれあい会館 参加28人 C班：10月29日 王越公民館 参加23人 10月30日 金山集会所 参加22人 計153名の市民参加
11月	議会運営委員会	議会基本条例の検証作業において、来年度より議会報告会を市内12地区で4月の同時期に開催することを決定した。
12月22日	12月定例会	本市議会において初となる議員発議による政策的条例「坂出市歯と口腔の健康づくり推進条例（案）」を可決した。

5. 政務活動費

政務活動費とは、地方自治法第100条第14項、15項及び16項の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として、議会における会派（所属議員が1人の場合を含む）または個人に対して交付されるもので、自治体によってその額は異なっています。また議長に対して収支報告書の提出が義務付けられています。

坂出市では会派の所属議員数に年額250,000円を乗じた金額がその年度に会派に交付されますが、使用しなかった分は市に返還することになっています。

政務活動費の交付及び使途基準については、「坂出市議会政務活動費の交付に関する条例」及び「坂出市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則」に定められています。

坂出市議会では、各会派が政務活動費を適正に執行するよう「政務活動費マニュアル」を定め、使途基準をさらに明確にするとともに使途について議会ホームページで公開しています。

坂出市議会議員名簿

平成 28 年 4 月 1 日現在

番号	氏名	期数	所属委員会	所属会派
1	植原 泰	1	教育民生・広報	市民と共に
2	脇 芳美	2	総務消防	新緑
3	東原 章	1	総務消防・広報	市民グループ未来の会
4	鳥飼 年幸	1	市民建設・広報	市民グループ未来の会
5	若谷 修治	2	議運・市民建設・決算・広報	市民グループ未来の会
6	村井 孝彦	2	総務消防・坂北フル・決算	市民グループ未来の会
7	斉藤 義明	2	市民建設・坂北フル・決算	市民の声
8	出田 泰三	2	議運・総務消防・広報	市民の声
9	茨 智仁	2	教育民生・坂北フル・決算・広報	新政会
10	大藤 匡文	3	市民建設	市民グループ未来の会
11	前川 昌也	3	教育民生	市民グループ未来の会
12	植條 敬介	4	議運・教育民生・坂北フル	市民グループ未来の会
13	野角 満昭	4	市民建設・坂北フル・決算	日本共産党議員会
14	若杉 輝久	6	議運・市民建設・坂北フル・広報	公明党議員会
15	松成 国宏	8	総務消防・決算	公明党議員会
16	楠井 常夫	3	議運・教育民生・坂北フル・決算	新政会
17	吉田 耕一	4	議運・総務消防・広報	新政会
18	大前 寛乗	4	議運・総務消防・坂北フル	市民グループ未来の会
19	山条 忠文	7	教育民生・決算	改進黨の会
20	東山 光徳	9	教育民生	新政会

* 「議運」は議会運営委員会、「坂北フル」は坂出北フルインター建設促進特別委員会、「決算」は決算審査特別委員会、「広報」は広報広聴委員会をそれぞれ略したものです。